

# 第16回 新都市社会技術セミナー 開催報告 (1/2)

令和元年10月15日(火)に、国民会館(大阪市中央区大手前)において、第16回新都市社会技術セミナー(主催:新都市社会技術融合創造研究会)を開催し、約170名の参加の下、各研究成果の発表が行われました。

- 新都市社会技術融合創造研究会(委員長:大西有三京都大学名誉教授)は、社会資本の整備、維持管理に関わる技術の普及を目的として、平成14年度に設置され、産・学・官の連携によって様々な技術研究プロジェクトに取り組んでまいりました。
- 平成15年に第1回セミナーを開催し、今回で第16回目を迎えました。
- 第16回セミナーは産より121名、学より11名、官より31名、その他3名の計166名の方々が聴講され活発な質疑応答がなされました。

## ～講演プログラム～

- 開会挨拶 大西 有三 委員長(京都大学 名誉教授)
- 講演1 海岸近接部において耐候性鋼材(無塗装仕様)を使用する橋梁の環境計測技術に関する研究  
プロジェクトリーダー 橋本 国太郎(神戸大学大学院 工学研究科 准教授)
- 講演2 事前道路通行規制区間の解除のあり方に関する研究  
プロジェクトリーダー 鳥居 宣之(神戸市立工業高等専門学校 教授)
- 講演3 ETC2.0プローブ情報の利活用の提案と効果分析に関する研究  
プロジェクトリーダー 今井 龍一(法政大学 デザイン工学部 准教授)
- 講演4 道路ネットワークの整備がもたらす広範なストック効果の計量化手法に関する研究  
プロジェクトリーダー 多々納 裕一(京都大学防災研究所 総合防災部門 教授)
- 講演5 道路事業における3次元データの利活用に関する研究  
プロジェクトリーダー 中村 健二(大阪経済大学 情報社会学部 教授)
- 講演6 橋梁の耐久性向上に資する排水構造と排水設備に関する技術標準の策定  
プロジェクトリーダー 奈良 敬(大阪大学 名誉教授)  
廣畑 幹人(大阪大学大学院 准教授)
- 講演7 トンネル点検支援技術の高度化に関する研究  
プロジェクトリーダー 石川 貴一郎(日本工業大学 基幹工学部 准教授)
- 講演8 道路資産管理高度化のためのデータベース構築に関する研究  
プロジェクトリーダー 松島 格也(京都大学大学院 工学研究科 准教授)
- 講演9 橋梁補修施策プロファイリング手法の開発  
プロジェクトリーダー 貝戸 清之(大阪大学大学院 工学研究科 准教授)
- 講演10 ICRT技術を活用した高精度かつ効率的な斜面・法面点検技術の開発  
プロジェクトリーダー 西山 哲(岡山大学大学院 環境生命科学研究所 教授)
- 講演11 鋼床版の疲労耐久性向上に関する研究  
プロジェクトリーダー 坂野 昌弘(関西大学 環境都市工学部 教授)
- 講演12 移動体通信データを活用した行動推定に基づく観光交通対策の優先順位最適化  
プロジェクトリーダー 山田 忠史(京都大学経営管理大学院 教授)
- 閉会挨拶 小林 潔司 副委員長(京都大学経営管理大学院 特任教授)

※講演1,2,3,4,7はプロジェクトメンバーによる代理発表



産・学・官あわせて約170名が聴講されました

### ◆大西委員長開会挨拶

本研究会では、新技術の開発や、災害からの復興・復旧に役立てる技術についても研究している。しっかり理解して頂き、質問もすることで活発な議論をお願いしたい。



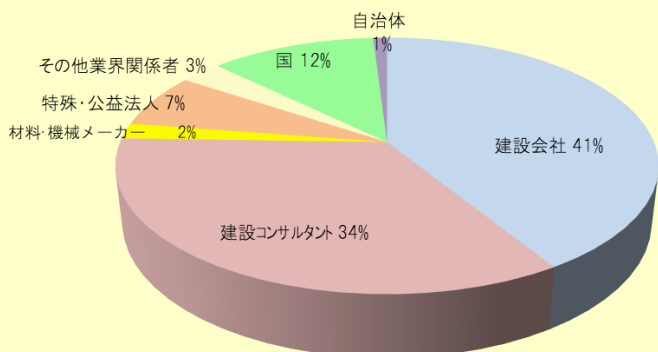
### ◆小林副委員長開会挨拶

産・官・学が一体となった研究を進めているのは近畿のみである。引き続き、国の政策課題を実装につなげていけるよう、研究会として役立つ取り組みを行ってゆきたい。

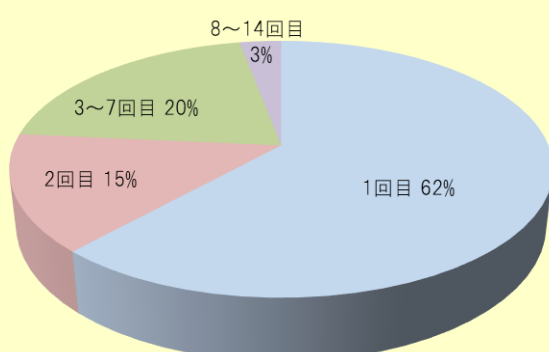


## 聴講者アンケートをご紹介します

<1. 聴講者の所属>



<2. セミナーへの参加回数>

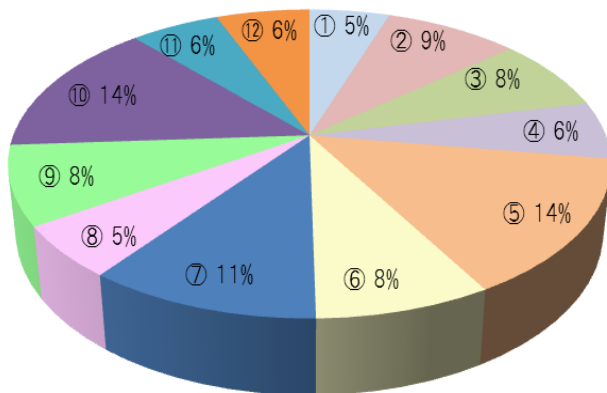


# 第16回 新都市社会技術セミナー 開催報告 (2/2)

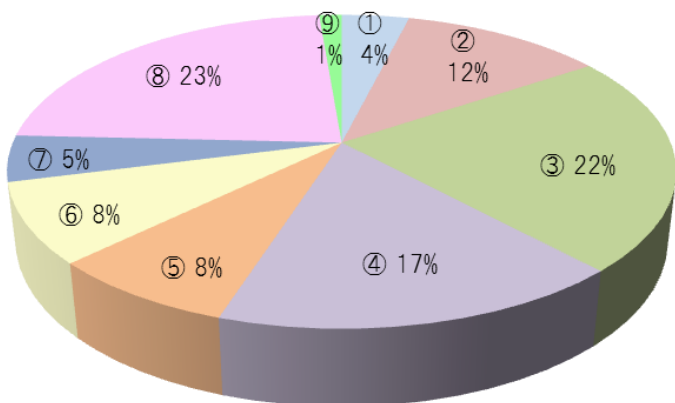
聴講者アンケートをご紹介します

### <3. 興味のあるプロジェクト>

- ① 海岸近接部において耐候性鋼材(無塗装仕様)を使用する橋梁の環境計測技術に関する研究
- ② 事前道路通行規制区間の解除のあり方に関する研究
- ③ ETC2.0プローブ情報の利活用の提案と効果分析に関する研究
- ④ 道路ネットワークの整備がもたらす広範なストック効果の計量化手法に関する研究
- ⑤ 道路事業における3次元データの利活用に関する研究
- ⑥ 橋梁の耐久性向上に資する排水構造と排水設備に関する技術標準の策定
- ⑦ トンネル点検支援技術の高度化に関する研究
- ⑧ 道路資産管理高度化のためのデータベース構築に関する研究
- ⑨ 橋梁補修施策プロファイリング手法の開発
- ⑩ ICRT技術を活用した高精度かつ効率的な斜面・法面点検技術の開発
- ⑪ 鋼床版の疲労耐久性向上に関する研究
- ⑫ 移動体通信データを活用した行動推定に基づく観光交通対策の優先順位最適化



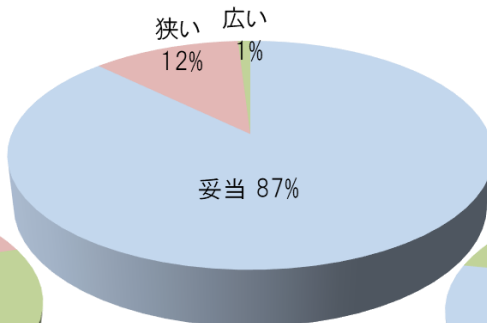
### <4. 新たに取り組んでほしい研究テーマ>



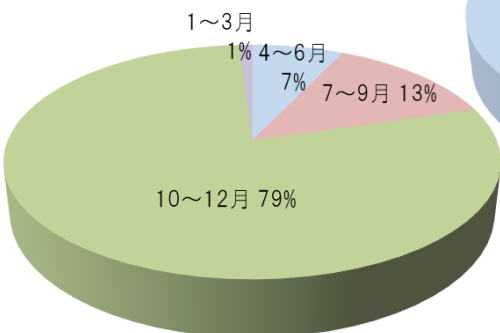
- ① 舗装に関する研究テーマ
- ② 橋梁に関する研究テーマ
- ③ 維持管理に関する研究テーマ
- ④ 新技術・施工法に関する研究テーマ
- ⑤ 環境やリサイクルに関する研究テーマ
- ⑥ まちづくりに関する研究テーマ
- ⑦ アセットマネジメント
- ⑧ 防災に関する研究テーマ
- ⑨ その他

- 具体の提案
- ・ 舗装のIRIを簡易に計測する技術
  - ・ 災害発生時の測量等ロボット技術の開発
  - ・ 3次元データと地質判読技術の融合

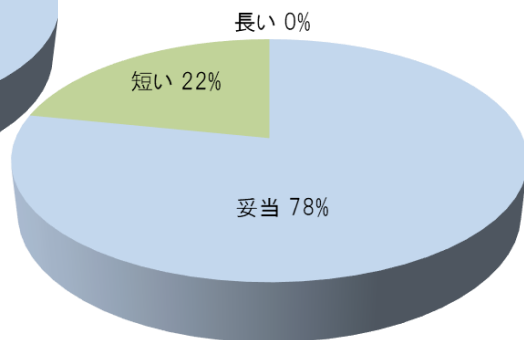
### <6. 会場規模>



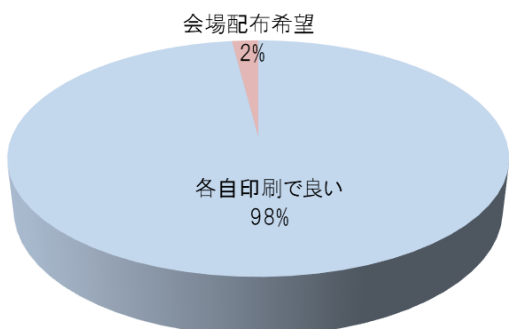
### <5. 望ましい開催時期>



### <7. プロジェクト発表時間>



### <8. 資料配付手段>



### <10. その他の意見>

- 良かった点
- ・ 説明がわかりやすく内容を理解して聞けた
  - ・ 新しい技術的知見が得られ、業務への活用に有用と考える
  - ・ 講演内容が多く、たくさん話が聴けて良かった
  - ・ これからも幅広い分野の話が聴けたら、と思う
  - ・ 発表者が時間を守っていてスムーズだった
- 改善すべき点
- ・ 成果がどう活かされるのかを明確にして欲しい
  - ・ 発表時間が短く、もう少し丁寧に聴きたかった
  - ・ 終了PJは長く、中間報告は短く、メリハリを付けると良い
  - ・ 13時から18時は長すぎる、終了時間を早くして欲しい
  - ・ テーブル席が少ない